着任のあいさつ

令和２年度の４月から、本校に着任をした校長の松田竜司と申します。前任校は、肢体不自由のある子どもたちが通う長崎特別支援学校で、教頭として３年半、校長として１年間務めさせていただきました。私は、１６年ぶりに本校に戻って参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

私が本校に勤務をし、児童生徒が登校するようになってから最初に実感したことは、学校の活気が増したということでした。本校は、平成２９年度に高等部が開設され、児童生徒数や教職員数が増加し、とても賑やかで、学校のいろんなところで活気にあふれている様子がうかがえました。とても素晴らしいことだと思いました。

そして、このような実感と共に、確実に発展をとげているこの川棚特別支援学校を更によくしていきたいという強い思いが湧いてきました。

そこで、令和２年度に集った児童生徒、教職員、保護者の皆様、そして、地域の皆様のお力添えもいただきながら、「チーム川特」として、みんなで一丸となって次のような学校を目指していきたいと考えました。

一つ、児童生徒が、できた、分かった、自分の頑張りを認めてもらった・ほめてもらったと実感し、児童生徒や保護者の皆様が、本校に**通ってよかったと思える学校。**

二つ、教職員が、やりがいを感じ働きやすいと実感し、**勤めてよかった思える学校。**

三つ、児童生徒や職員が地域に貢献し、地域の皆様に本校が東彼杵郡に**あってよかったと思っていただける学校。**

このような学校を目指していくことにより、本校に在籍する全ての児童生徒の生活の質を高め、本校を卒業する児童生徒が進路実現を果たせるよう、関係者みんなで支援していきたいと思います。

皆様、ご理解とご協力をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

尚、このような思いを込めて、令和２年度の本校の経営方針を見直しています。併せてご覧いただければ幸いです。

現在は、新型コロナウイルス感染症予防を最優先とするために、臨時休業としています。児童生徒のいない学校はとても寂しいです。今の状況が一日も早く収束し、元の活気が戻ることを切に願っています。

長崎県立川棚特別支援学校長
松田　竜司